

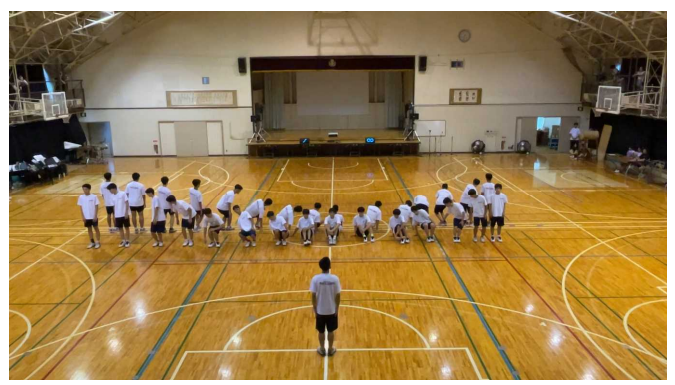
令和5年度 青森県立八戸西高等学校 スポーツ科学科1・2学年

「西高祭 スポーツ科学科実演会」

実施年月日: 令和5年7月15日(土)、令和5年7月16日(日)

実施場所: 本校第一体育館

概要: 西高祭において、男子は集団行動、女子はダンスを披露した。また、各部活動の紹介として、弓道部、バレーボール部、剣道部、サッカー部、陸上競技部、ラグビー部、バスケットボール部が各競技の技を披露した。



スポーツ科学科生徒の感想

宮 大輝(長者中学校出身・ヴァンラーレ[サッカー])

集団行動の指揮者をやりきれて凄く気分が良くなりました。途中で文化祭に出れない人が続出し、どうなるかと思いましたが、練習の回数を重ねていくごとに完成度が徐々に高まり、1 スポと 2 スポで団結し本番で見事に成功させることができました。今回指揮者という経験を通して成長したことは主に2つあります。1つ目はリーダーシップ力が前よりも身についたと思います。人前に出て指示をし、的確な声をかけることの重要さがわかりました。2つ目は物事を最後まで諦めずにやり切る力が身についたと思います。指揮者はとても長い文章を暗記しなければいけないので何度も心が折れそうになりました。しかし、寝る前に何度も反復練習を重ねて間違えないように自分なりに工夫しました。この経験を学校生活や学校外での活動に活かし、自分らしさをどんどん出していきたいと思います。

大渡 未釉(白銀中学校出身・バレーボール部)

今年の実演会を経て痛感したことは、人をまとめることの難しさ、一致団結することの難しさです。私の所属するスポーツ科学科は個性豊かな集団です。そんなスポ科一人一人の個性を生かして作品を創り上げるためには、一人一人の心を大切にして練習に向かわなければならないということを学びました。ダンスの得手不得手に関わらず、誰もが踊れて分かり易い演舞を考え、提案すること。私には本当に難題でした。しかし、仲間の声掛けと、当日参加できない仲間のサポートのおかげで、本番を無事に終えることができました。今回の学びをこれからの学校生活にどれ程生かせるのか。これが、今後の学校生活の充実度に繋がっていくと、私は思っています。